

低所得層の保育料は妙高市などより高い

平良木議員が引き下げ求める

16日の市議会厚生常任委員会で保育料についての質疑が相次ぎました。発言者のほとんどは、増え続ける保育料の滞納額の解消に向けた対策強化を求めるものでした。そうしたなかで日本共産党議員団の平良木哲也議員（写真左、拳手）は保育料の引き下げを求め奮闘しました。

平良木議員は、「滞納があるのは、ぎりぎりの暮らしをしている保護者が多いからではないか。取り立てを強めるのではなく、支払うことのできる保育料にすることが大切ではないか。」

保育料は他市と比べて安いわけではない。むしろ、所得の低い層向けの保育料は柏崎市や妙高市と比べて割高になっている。この点をどう考えるか」と追及しました。

左表は上越市の保育料です。同議員が問題にしたのはB、C階層の保育料。B階層の3歳以上児と比較すると上越市の料金は、柏崎市、妙高市よりも500円高くなっています。C2階層の3歳以上児では、柏崎市よりも1200円、妙高市よりも2000円高くなっています。

務めではないか。日本共産党議員団では引き続き引き下げを求めて頑張ります。



【シラヤマギク】道端や土手でひょろっと背を伸ばし、白い花を咲かせています。小苗代にて17日撮影。

よしかわたすけあいの人たち 総務委員会審査を傍聴



NPO法人「よしかわたすけあい」の皆さんが18日、市議会を訪問。議場（写真）を見た後、総務委員会の決算審査の様子を傍聴されました。

参加者の皆さんは、「いい経験をさせてもらいました」と笑顔で

しました。私も励みになりました。市議会の視察を希望される団体・個人があれば、ぜひいつでも案内役を務めさせてもらいます。どうぞ、気軽にお出かけください。

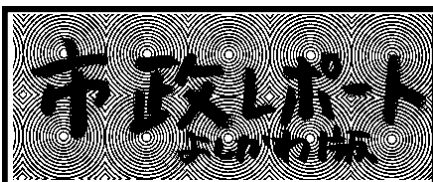
私の一般質問は30日午後5時の予定

一般質問が24日から始まり、私は31番目に登場、原油高騰に伴う灯油代補助、医師不足の解消、並行在来線の存続などを求めて質問します。



各月初日の児童の属する世帯の階層区分		保育料(月額:円)			
		3歳未満児の場合	3歳以上児の場合		
生活保護法(昭和25年法律第144号)による被保護世帯(単給世帯を含む。)		A	0	0	
A階層及びD階層を除き、前年度分の市町村民税の額が次の区分に該当する世帯	非課税世帯	保育料の特例適用世帯	B ₀	0	0
		上記以外の世帯	B	3,500	2,500
課税世帯	均等割の額のみ	C ₁	10,000	7,200	
		所得割課税世帯	C ₂	13,000	11,000
A階層を除き、基準年度の初日が属する年の前年分の所得税課税世帯であって、その所得税の額が次の区分に該当する世帯	7,500円未満		D ₁	18,000	16,000
	7,500円以上40,000円未満		D ₂	26,000	22,000
	40,000円以上60,000円未満		D ₃	35,000	28,000
	60,000円以上103,000円未満		D ₄	42,000	32,000
	103,000円以上303,000円未満		D ₅	49,000	36,000
	303,000円以上413,000円未満		D ₆	56,000	38,000
	413,000円以上703,000円未満		D ₇	62,000	39,000
	703,000円以上		D ₈	65,000	40,000

平良木議員の質問に対して担当課長は「(上越市の保育料は)国の基準に比べてかなり減額している。保育料は市の状況の違いもあり市ごとに異なる。見直すつもりはない」と答弁しました。払える力があるのに払わない保護者がいれば徴収強化は当然ですが、払いたくても払いきれない人の気持ちにより添って対策を考



NO 1363
2008.9.21

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/